

「横浜市乳がん連携病院」に

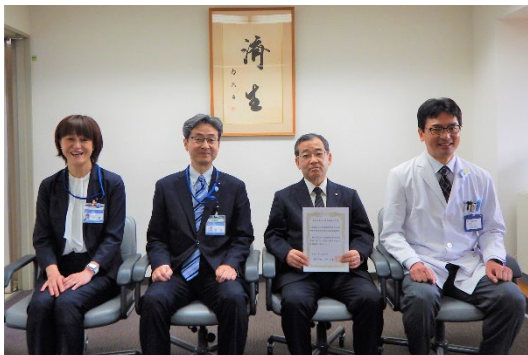
済生会横浜市南部病院と昭和大学横浜市北部病院が加わりました！

横浜市では、多職種でのチーム医療による乳がん診療の充実や患者支援に取り組む病院を、平成29年度から「横浜市乳がん連携病院」に指定しています。

「横浜市乳がん連携病院」は、院内の乳がん診療体制の充実に取り組むとともに、横浜市と連携し、市域の看護師の人材育成や、市民向けの乳がん対策の啓発に取り組んでいます。

このたび、「横浜市乳がん連携病院」に済生会横浜市南部病院（港南区）と昭和大学横浜市北部病院（都筑区）を新たに指定しました。

指定書授与式の様子



済生会横浜市南部病院の乳がん対策チームは、多職種がお互いの連携を密に保ちながら、患者さんやその御家族に対して様々な問題への支援を実践することを目標にしています。

横浜市港南区港南台 3-2-10

<https://www.nanbu.saiseikai.or.jp/>



昭和大学横浜市北部病院では、医師・看護師・薬剤師など多職種による乳がん診療を行っています。公開講座やがんサロンを通して地域と連携し、患者さんを中心とした医療を提供しています。

横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

<https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

横浜市乳がん連携病院(令和6年5月1日時点)

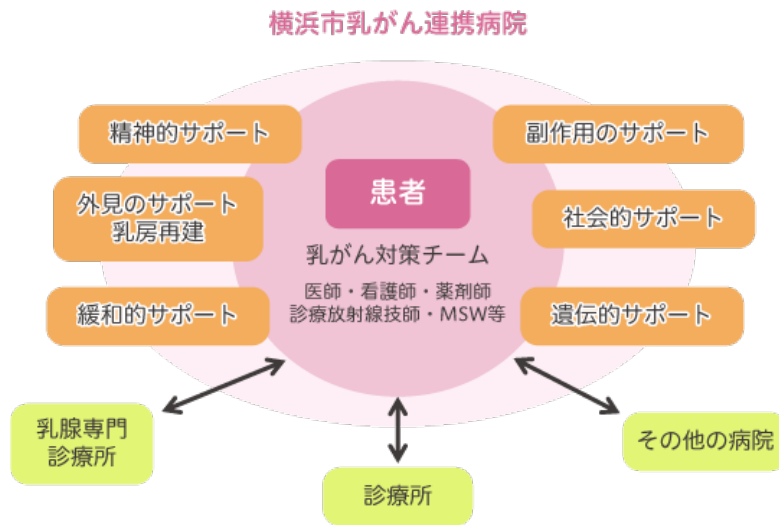
公立大学法人横浜市立大学附属病院
公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター
独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院
横浜市立みなと赤十字病院
横浜市立市民病院
一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院
社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市南部病院
昭和大学横浜市北部病院

「横浜市乳がん連携病院」とは

乳がんは、家庭や職場において中心的な役割を担う世代で患う方が多くなっています。乳がんの治療は長期間に及ぶことが多いことから、患者さんの生活の質を守るため、通院による体力的負担、時間的負担や交通費等の経済的負担を最小限にするため、市内で治療を受けることを選択できる環境を整える必要があります。

また、就労に関する相談や副作用による外見（アピアランス）ケア、メンタルケアをしながらの治療が望まれるため、医師・看護師・薬剤師など様々な専門職が連携し、チーム医療で患者さんの治療環境を整えていく必要があります。

「横浜市乳がん連携病院」は、国が指定する「地域がん診療連携拠点病院」または「神奈川県がん診療連携指定病院」のうち、組織横断的な多職種連携による乳がん診療に実績のある病院を指定しています。院内の連携だけでなく、検診や精密検査、治療後のフォローを行う診療所との連携や、乳がん連携病院同士の連携を推進しています。



(参考)横浜市乳がん連携病院の活動

Patient Navigator 養成講座

市内病院の看護師の方を対象に、患者に寄り添い、自ら、または他職種と連携して必要な支援を提供できる看護師を育成する講座を乳がん連携病院の医師と看護師が中心となり企画・運営します。

令和6年度は2回目となる養成講座を開催します。

https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/gan/taisaku/nyugan.files/0021_20240412.pdf



乳がん情報ウェブサイト「よこはま乳がん」

乳がん連携病院の医師と看護師が、医療者の視点で患者さんにお伝えしたい、知っていただきたいことをコンテンツにまとめた情報サイトを作成し、定期的に情報を更新しています。

<https://nyugan-contents.city.yokohama.lg.jp/>



がん教育

乳がん連携病院の医師が外部講師となり、市立中学校にがん教育授業を行う事業を令和6年度から実施します。乳がん診療の現場の話などを聞くことで、がんをより身近に感じてもらい、がんに対する理解を深めてもらうとともに、がんの予防や将来の検診受診につなげることを目指します。

お問合せ先

医療局がん・疾病対策課長 三室 直樹 Tel 045-671-2957